

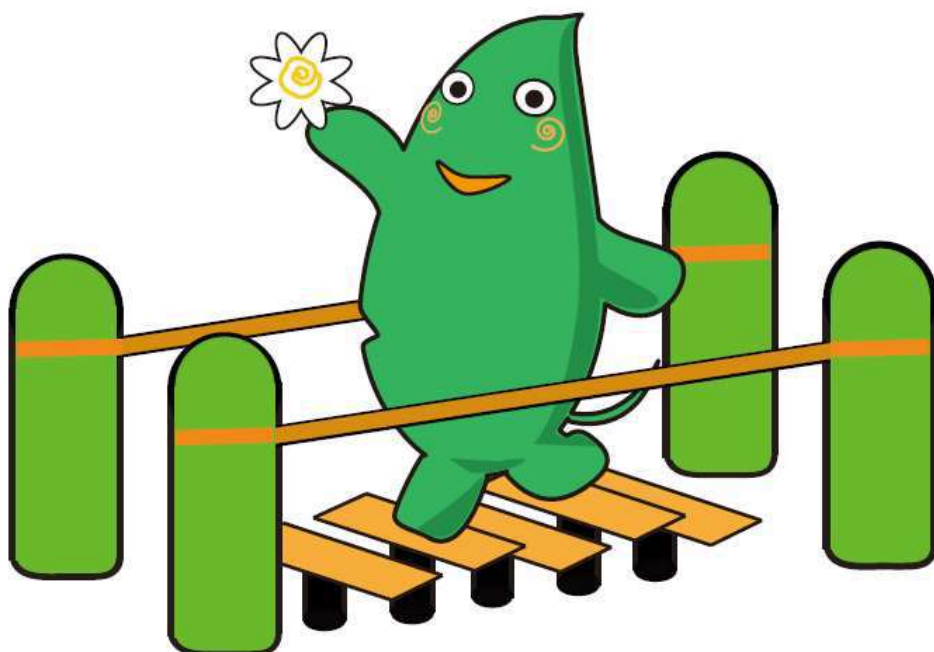


市民活動のツボマーク「あの手この手」
Solution(解決)のSを表しています。

大和市

令和4年度

協働事業活動報告書



大和市イベントキャラクター ヤマトン

大和市 市民活動課 / 大和市民活動センター

目次

1. 令和4年度実施 協働事業一覧

2. 各事業の報告



大和市イベントキャラクター ヤマトン

1. 令和4年度実施 協働事業一覧

◆令和3年度提案事業（令和4年～6年度実施予定事業）

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課
1	ふれあいの森ドッグラン運営管理	市民 提案型	結の会／ みどり公園課
2	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう	市民 提案型	地域と市との協働「のりあい」／ 街づくり総務課
3	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つるま読み書きの部屋」	市民 提案型	NPO 法人かながわ難民定住援助協会／ 国際・男女共同参画課
4	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業	市民 提案型	渋谷きんりん未来の会／ 図書・学び交流課
5	移動制約者の外出介助サービス事業	市民 提案型	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ ケア アビーくる／障がい福祉課
6	移動制約者の外出介助サービス事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会／ 障がい福祉課
7	移動制約者の外出介助サービス事業	市民 提案型	NPO 法人たんぼぼ／ 障がい福祉課
8	みんなでつくろう安心のまち事業	行政 提案型	大和女性防犯会／ 生活あんしん課

◆令和2年度提案事業（令和3年～5年度実施予定事業）

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課
9	大和市民活動センターの管理運営	行政 提案型	拠点やまと／ 市民活動課

◆令和元（平成31）年度提案事業（令和2年～4年度実施事業）

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課
10	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会／ 指導室、健康福祉総務課
11	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート事業	市民 提案型	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア／ すくすく子育て課
12	入院患者さんの「癒しの場」提供事業	行政 提案型	LickLuck／ 病院総務課

2. 各事業の報告



大和市イベントキャラクター ヤマトン

1. ふれあいの森ドッグラン運営管理

事業名称	ふれあいの森ドッグラン運営管理	
事業者	結の会	
市担当課	みどり公園課	
提案分類	市民提案型	・ 行政提案型
協働事業 経過年数	16 年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 110,000 円 市担当課の執行額（注2）： 958,602 円	
事業の目的	犬のしつけとマナーの向上及び、犬と人との触れ合いを通して 会員相互の親睦を図り、ドッグランの運営を介して地域社会に 貢献すること。	
事業の内容	会員登録説明会の企画運営（グリーンアップセンターにて3か月毎） 毎月第3日曜日に犬同伴の公園清掃（夏季7・8月を除く） ドッグランの運営及びイベント企画	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
		会員登録説明会（於；グリーンアップセンター研修室・ コミュニティセンター集会室）
	2022.06.05(日)	第55回 11組 + 7名（参加者 + 役員）
	2022.09.03(土)	第56回 11組 + 7名（参加者 + 役員）
	2022.12.03(日)	第57回 12組 + 7名（参加者 + 役員）
	2023.03.04(土)	第58回 18組 + 7名（参加者 + 役員）
	2022.06.19(日)	定期清掃 33名 40頭
	2022.09.15(木)	定期清掃 19名 25頭
	2022.10.16(日)	定期清掃 28名 34頭
	2022.11.20(日)	定期清掃 雨天中止
2022.12.22(木)	定期清掃 雨天中止	
2023.01.15(日)	定期清掃 39名 47頭	
2023.02.19(日)	定期清掃 30名 34頭	
2023.03.19(日)	定期清掃 41名 52頭	
	12月22日は場内の大掃除も実施	

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 定期清掃や場内整備への参加の大切さを新規登録説明会で伝えるようにしたため、過年度に比べて参加者が増加傾向になってくれました。	(コメント) 定期清掃や場内整備への参加者が増加傾向になり、会員同士の親睦を深められた。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 新規登録会も予定どおり実施できるようになったため、計画どおりに事業が実施できました。 定期清掃については雨天中止が数回ありました。	(コメント) 新型コロナウイルス感染対策を徹底のうえ予定どおり登録説明会を実施した。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) みどり公園課の予算にも助けられ、無事に場内整備を賄うことができました。	(コメント) 予算の範囲内で、計画的に事業を実施した。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) みどり公園課の担当者とは何かあった際には連絡を密にとれるため、とても助かっています。また新規登録会の広報や受付を担っていただき、個人情報の管理という点においてもとてもやりやすい分担体制が出来上がっています。	(コメント) 施設の維持管理や運営のほか、登録説明会の広報や申し込みの受付など、それぞれの役割をしっかりと行い、年間を通し適切に事業を実施した。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
自分たちで会場整備して使用するドッグランですが、一部利用者において何の手伝いもせず利用している者が存在します。 男女問わずに夏の暑い中で草刈りなどにいそしんでくれる方が多く居る一方で、このような者に対する不満が出てきています。 今後は利用制限を設けるなどの措置をとらないといけない時期がきているように思えます。 幸いなのはそうした者がごく一部の限られたものであり、大多数の会員はお手伝いに前向きになって運営に協力してくれているところです。	ドッグランの運営や利用に関して、今後も結の会と意見交換をしていき、適宜対応を図っていく。

2. 地域で支え合う「のりあい」を走らせよう

事業名称	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう	
事業者	地域と市との協働「のりあい」	
市担当課	街づくり総務課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	13年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 460,000円 市担当課の執行額（注2）： 46,784,400円 （内、バス事業者への委託費：45,584,000円）	
事業の目的	交通の利便性を高め、地域公共交通の新たな創出、地域のコミュニケーションを作り、住み心地良い地域づくりを目指す。	
事業の内容	地域で市との協働により、支え合える移動手段の創出、運営と地域と地域住民のつながりを深め、福祉、防犯、交通安全等への意識を深める。	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 （イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください）
	令和4年度 事業実施の 経過	<p><令和4年度事業実績></p> <p>◆運行事業：相鉄バス（株）による運行 運行日数 365日（土日祝日含む）利用 26,449人（前年度比約3,000人増）</p> <p>◆添乗者：8人 本年度は、4月～翌3月、通年、添乗支援活動を実施。月毎の添乗乗車日を一覧とし、午前・午後の可能な便に乗車を行い、利用の方々の安全な乗降、カート荷物等のサポートを実施。 添乗活動支援者 378人（年間延べ） 添乗便数 1446便数（年）</p> <p>※1月からの運行ルート変更、便数増により、添乗可能な割合に変化が生じる。</p> <p>※添乗により、利用の方々から、新たな午前の南北別ルート、午後の便等についてご意見・要望の声があり、市への報告を実施。</p> <p>※添乗も利用者満席による途中の停留所で降車する割合が増加。</p> <p>※北ルートの利用者からは、3回待っても乗車できなかったとの声が出始めている。</p> <p>◆地域のサポーター：30人 地域サポーターとして添乗を辞めた方々も、これまで同様、それぞれの地域で連絡、確認等の協力を継続中。新たなコース等についての意見も上がっている。</p>

		<p>◆運営：スムーズな運行に向けた取り組み 運営委員会（月1回実施）、バス停環境整備（延べ600人参加）、地域グリーン活動（48回実施）（延べ720人）、ニュース発行（月1回 No.143～No.154） 感染予防対策（地域への情報提供・注意喚起）、車内忘れ物対応、時刻表示の剥がれ等対応他、その他工事等の掲示。</p> <p>◆ルート上の工事、迂回運行・遅延等の連絡を受け、各地域への情報伝達</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の対応継続（下記項目中止） ・役員会（年4回）、地域交流会（年1回） 臨時役員会1回のみ実施 ・地域行事も開催無し。</p> <p><令和4年度の課題></p> <p>◆令和5年1月からの南北ルート、全便数増の試みに対して、南ルートの利用者からは、鶴間駅に早く着くので良いといった声がある半面、午前中の西鶴間コミセンの利用が不便になり、困るとの声がある。北ルートでは、40分毎の利用が、1時間に1回の割合での利用となり、3便続けてお断りされたとの声も上がってきている。外出が集中する時間帯は、かなり厳しい状況になっている。</p> <p>◆地域の高齢人口増と共に、自家用を持たない新たな若い家族の利用もあり、まだまだ外出支援ののりあい運行は、課題解決が難しい状況にある。 今後も大和市、相鉄バス、地域の三者による課題解決に向けた取り組みは、継続を余儀なくされる状況にある。</p>
	<p>通年4月～翌3月</p>	<p>◆西鶴間8丁目停留所と5号公園の停留所を移設。</p> <p>◆毎月月末の日曜日、運営会議を実施。</p> <p>◆コロナ禍への対応も変化し、車内添乗乗車可。可能な便で乗車対応。 利用者により満車になった場合は、添乗者降車し、次便等に乗車対応。</p> <p>◆月ごとの添乗のシフト表を作成し、のりあい3台に配布。</p> <p>◆毎月全ルートを分割し、清掃（ゴミ回収、草取り等）</p> <p>◆のりあい会計の打ち合わせ、会計監査の実施</p> <p>◆街づくり総務課との打ち合わせ（新ルートについて、事業報告、事業計画）</p> <p>◆「のりあい」の新ルート等について、書面通知・確認等</p>

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) ・添乗の乗車が可となり、利用の方々から、助かるとの反応。 ・市役所からは、運行に関する緊急連絡、工事等の情報を共有し、利用者にスムーズに連絡がとれるよう心掛けた。 ・停留所周辺の清掃と、利用者の見送り、見守りの継続も実施し、利用の方々との情報共有は、一定保つことで、利用者の状態の変化等、共有を保つことができ、ある程度、スムーズな運営ができています。 ・ただし、足腰の不安定な方の増加が見受けられ、より一層の乗降時の見守り等が必要な状況増。	(コメント) ・のりあい運行による地域公共交通の実現に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、取り組みを継続している。 ・添乗による乗降補助を再開することで、地域の交通手段としてコミュニティ形成に寄与する活動を継続した。 ・「のりあいニュース」を発行し、利用状況などの情報を地域住民と共有した。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) ・添乗として同乗ができ、乗降時の安全性が高まったが、利用者お断り増により、添乗降車増もあり、足腰の弱り、カートの利用による荷物の重量増等乗降時の安全面での対応が今後の課題と捉えている。 ・忘れ物や落とし物対応は、運行事業者への連絡、地域での受け取り対応等、連携が、スムーズにできている。	(コメント) ・のりあいの運行及び添乗による乗降補を再開したが、添乗者による車内でのコミュニケーションは引き続き中止とした。 ・また、運営会議、地域交流会が中止となった。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) ・関係自治会からの支援金は、例年通りの協力を今年も得られ助かりました。(添乗の必要な状況が増加している)	(コメント) ・予算枠内での事業実施ができた。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) ・協働事業により、日々の継続運行が維持されたこと、利用者増による乗り切れない状況への対策を午前南北ルート、増便を実施し、今後の一層の地域・利用者への充実に向けた工夫の実施、更なる改善に向けた一歩になった。	(コメント) ・のりあいの運行を市が、バス停の環境整備、迂回・運休時の対応補助等を地域が行う協働体制により、サービス提供側と利用者側とで共に事業を支える関係をつくることできている。 ・ルート分割やバス停移設を行う際も、運行業者との協議を市が行い、地域への広報や説明を事業者が行うなど、役割分担が明確である。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
1. 地域の外出支援向上に努め、利便性を高める 2. 利用者増によるお断り便増含め、車内でののりあい関係者のサポート等の対応についても、創意工夫が課題。 3. 有償ボランティア活動の意義を共有し合う 4. 市、委託事業者、のりあい三者での体制の更なる充実（一般のバスとは違う取り組みの良さを生かしたのりあいの位置づけ） 5. 人口密度の高い地域、高齢者増の地域でもあり安心できる外出、買い物等手荷物も増え、カートの利用増も必然の状況で、安心・安全な外出への対応を、現状とは別の形で、生み出すことが必要となっている。地域での見守り含め、関係自治会との連絡がより密になると考えている。	・乗り残しの対策として午前便のルート分割を行ったが、3月時点で大幅な改善に至っていない。 ・経過を観察しながら、今後のバスルートの見直しの必要性について事業者と検討を行う。 ・バス停の安全対策について、課題を共有し、事業者（のりあい事務局・協力自治会）とともにその解決策について検討していく。

3. 生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」

事業名称	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」	
事業者	NPO法人 かながわ難民定住援助協会	
市担当課	国際・男女共同参画課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	13年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 50,875円 市担当課の執行額（注2）： 80,000円	
事業の目的	多文化共生社会の実現を目指して、同じ地域に住む日本人と外国人市民が相互理解を深めるとともに、外国人学習者の日本語読み書きのスキルアップと日本の生活・文化・習慣への理解を高めていく。	
事業の内容	上記の目的を達成するため次に掲げる事項を行う。 ① 日本語教室の開催 ② ボランティアスタッフの育成 ③ 成果物の作成とホームページ公開 ④ SNSを活用した教室活動の紹介	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	R4/5/10~31	ボランティア研修講座（生涯学習センター） 受講生12名 スタッフ5名 市担当課1名
	R4/6/7	第1期資料検討会 スタッフ4名 市担当課1名
	R4/6/13~27	第1期教室（保健福祉センター、生涯学習センター） 受講生3名 スタッフ4名 ※昼クラスは受講生の申込が少なく講座を開催できず
	R4/10/11	第2期資料検討会 スタッフ3名、市担当課1名
	R4/10/17~11/8	第2期教室（生涯学習センター） 受講生9名 スタッフ4名 市担当課1名
	R5/2/7	第3期資料検討会 スタッフ3名、市担当課1名
	R5/2/13~28	第3期教室（生涯学習センター） 受講生10名 スタッフ3名

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか (目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>第1期の教室では、昼クラスの受講者の申込が少なく、開催できなかった。毎回受講している外国籍学習者も来られない人が多かった、コロナによる受講者の生活に変化があった為か、コロナ禍で教室ができない期間があったので、学習意欲が低下してしまったのか、考えさせられた。</p> <p>第2期から、昼クラスにベトナム人研修生が5人の参加があった、受け入れ先の(株)サイゼリアの神奈川工場からの紹介だった。企業が受け入れている外国籍の方々の日本語教育に熱心なのは嬉しい。これからもこのような企業の取り組みで受講者が増える事を望みます。</p>	<p>(コメント)</p> <p>年度当初には、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く、外国人市民の受講者が少なくて教室開催を見合わせたこともあった。しかしながら、その後は徐々に問い合わせ・参加者も増加し、来年につながる兆しを見せています。日本人ボランティアスタッフを募集する講座の参加者は多かったにもかかわらず、ボランティアスタッフとして最終的に参加・継続する人が集められなかったことが課題です。</p>

・予定した方法により事業が実施できましたか (実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>第1期の昼クラスは開催できなかったが、他は予定通り開催できた。</p> <p>読んだり、書いたりを中心に教室を進めているが、ボランティア日本人スタッフが不足していて、書くタスクの手伝いをきめ細かくするのが難しかった。</p>	<p>(コメント)</p> <p>外国人学習者への年間3期(1期毎昼夜各4回)の講座と、ボランティア講座1期(3回)の開催に向けて年間スケジュールを立て、1期の昼講座のみ中止となりましたが、ボランティア講座では担当課も講義を行うなど、予定通りに実施できました。</p>

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか (計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>講座は予算内で実施できた。</p> <p>コロナの影響で教室外活動ができなかったり、日本人ボランティアが減って、交通費が予想より少なかったりし、いただいた予算を戻入れました。</p>	<p>(コメント)</p> <p>前年度に比べて、講座を計画的に実施できたため、受講料などの収入もあり、余剰が生じた部分も適切に戻入していただきました。</p>

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) 講座会場の確保や使用する機材の手配、受講者募集などを担っていただき、教室の運営に集中できた。 受講生との連絡を丁寧にしていただき、助かった。	(コメント) 保健福祉センターから、全講座を生涯学習センターで実施すること変更し、担当課の職員がカギ閉め等を行わずに済むようになりました。これにより、無駄な時間外勤務を改善でき、協働事業者には教室の運営に注力していただきました。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
日本人スタッフの減少や高齢化が進んでいるので、研修講座などでボランティアスタッフを増やし、継続的に活動できる人材を育てていきたい。また、テキストの制作や実際に教えるのはハードルが高いので参加が難しいという方には受講者のサポートだけを行うサポートスタッフの導入も行う予定。 新たな受講者の開拓も必要である。	日本語を教えるボランティアスタッフが年々減少し、また年齢層も高くなっているため新たなボランティアスタッフの確保が喫緊の課題です。 外国人市民の日本語学習者はコロナ禍も落ち着き、徐々に増加してきましたが、1回につき二桁程度の受講者で行うことが理想と考えます。

4. 地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業

事業名称	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業	
事業者	渋谷きんりん未来の会	
市担当課	図書・学び交流課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	20 年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）：	0 円
	市担当課の執行額（注2）：	4,954,110 円
事業の目的	新しい公共の創造に寄与することを基本とし、地域住民の生涯学習を推進し、交流できる居場所として渋谷中学校との連携のもと、活力ある住みよい地域となることを目的とする	
事業の内容	<p>1) 会議室、特別教室の市民への貸し出しなどを通じた市民活動の活性化事業</p> <p>2) 地域ニーズに基づいた生涯学習の推進支援事業 ・地域住民の生涯学習の推進、交流の場となる活動の支援</p> <p>3) 下和田地区の児童館機能、子どもや保育者・中高生・一般などの居場所としての事業 ・地域の人々の憩いの場、学びの場として日々充実した活動ができる場を提供 ・閉校した下和田小学校の思い出を伝え、交流できる場の提供</p> <p>4) 伝統文化・国際交流・環境配慮等に関するイベントの企画等 ①日本の伝統文化を伝えるため、地域の方の協力のもとに事業を実施 ②地域に生きる外国籍の方々との協力を基本として活動を推進 ③地域の方との協力や学校との連携の中で環境美化やリサイクル工作、グリーンカーテン作りなどを実施</p> <p>5) 情報発信事業 ・HP や地域回覧用の広報誌や小学生向けのお知らせなどを作成し情報発信</p>	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
		別紙のとおり

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) 今年度はコロナによる休館もなく無事開館できた。ここ2年ほどは休館の時期も多く子ども達からの認知も下がってしまっていたが、少しずつ子ども達の姿もどってきた。担当課にも相談しながら、事業を予定通り実施できた。利用者から強い希望があった「男の料理教室」については、飲食を伴う講座であるため、現状での開催は難しいと考えていたが、講師の方々と話し合い、参加者の方々に感染防止策を守るようお願いするとともに、少人数制および黙食をルールとすることで、無事に開催することができた。	(コメント) 昨年度とは異なり、今年度はコロナ禍を理由とする休館期間もなく、予定どおり特別教室開放や各種講座などの事業を実施していた。渋谷中学校における調理実習時の感染対策も参考にし、休止していた料理教室を再開できたことは前進であった。料理教室に限らず、年間を通して、おたのしみ工作、さき織り体験、あるいはフラダンス教室など、様々な講座を実施し、学校の生徒や地域住民の生涯学習を推進することができた。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) 問題なく開催できた。 当初予定に無かった「月イチ学園祭」(会場:シリウス6階、生涯学習センター)にも調整をして参加できた。	(コメント) 休館期間はなく、施設消毒や検温といった感染予防策を講じながら、安全に講座を始めとする事業を実施することができた。 また広報やまと、下和田の郷通信(他言語への翻訳版を含む)、ホームページを通して事業の周知を行った。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) 当初予定していたスケジュール通りに事業が進み予算の範囲内で無事実施できた。	(コメント) 予算の範囲内で事業を実施することができた。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
(コメント) 広報を外国語（ベトナム語・中国語）に翻訳する手配をしていただいたことや、当初予定に無かった「月イチ学園祭」に参加するなど新しい動きもあった。	(コメント) 生涯学習センターで実施された市の事業、「月イチ学園祭」にも参加・出展して、市の担当課と連携しつつ自分たちの活動をPRし、地域の拠点としての存在感を示すことができた。渋谷きりん未来の会が出展していた部屋には110名の来場者があり、大盛況となった。また、令和4年度より、新たな試みとして「下和田の郷通信」の翻訳版発行に向けた準備を、行政と連携して行えた点もよかった。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
広報の関係でお知らせが遅れてしまい、申し込みに間に合わないなどの利用者の声もあった。改善して次年度に臨みたい。 館内でのコロナ対策など国や県・他の施設などの状況がわからないことも多く手さぐりになっている。今後の変化に対応できるようにしたい。 サタデイチャレンジルームの参加者をもう少し増やしたいが講師の先生の都合により難しく、お手伝いいただける先生の確保が課題となっている。	新型コロナウイルス感染症が完全に収束した訳ではないが、マスク着用の任意化や特別教室開放事業における調理に伴う飲食の解禁など、徐々に従来のような事業を実施できるようになってきている。引き続き利用者の安全を考慮しながら、より良い運営方法および事業内容について検討してもらいたい。 令和4年度からは夜間の施設管理をシルバー人材センターに委託しているが、市としても、今後も事業者との情報共有を通して、滞りない事業実施に努めたい。

2022年度事業実施状況

網掛け箇所については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました

自主事業

対象	事業名	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施内容
	ディスプレイ	不定期			27日 30日	1日 7日					1日 11日				季節にあわせた飾り付けを利用者と共に行う（七夕飾りやクリスマス飾り等）
	アレンジフラワー	水				13日					14日				花を使って自由に表現するアレンジフラワー
	デジタルクラフト	日	毎週日曜日												PCを使った制作通じPC使い方や遊び方を学ぶ（ペーパークラフトなど）
	おしるこづくり	日											16日		食を通じた交流
	UNO/カルタ大会	日											16日		ルールを守り、みんなで楽しく交流することを学ぶ場
小・中学生	武道場で遊ぼう	日	全て中止												広い場所で思い切り遊ぶ場を提供する（バドミントンなど）
	スクリーンを使って	第2・4 (日)	10日 24日	8日 22日	12日 26日	10日 24日	毎週	11日 25日	9日 23日	13日 27日	11日 18日	8日 22日	12日 26日	12日 26日	子どもとスタッフの協力による映画上映会
小中・一般	月イチ学園祭	火					2日								シリウスにて行う市民交流イベント
	みんなで大掃除	日				未定					未定				普段使用している場所をスタッフと利用者一緒に大掃除
	布わらじ作り	水・木				29日 30日									スタッフが講師となり不要になった布を再利用したわらじ作りを行う

共催事業

対象	事業名	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施内容
主に小学生	切り絵あそび	日				24日									地域の人と参加者との切り絵を通じた交流の場
	おたのしみ工作					3日			16日		4日		5日		季節に合わせた材料や作品作りを通して、道具の扱い方なども学ぶ
	書初め教室	木										5日			新年の書初めを行い落着きと集中力を養う
一般	男の料理教室	日										29日			成人男性が一人でも栄養のバランスのとれた食事が作れるような料理講習会
	押し花	火			7日					8日					利用団体の方が講師となり、参加者が一緒に押し花を通じて交流を図る場
	ウクレレ教室	月(毎週)	4月-6月毎週(月) 全10回												ウクレレ演奏を通じて音楽や楽器を楽しむ
	PCなんでも相談室	第3(木)	21日	19日	16日	14日	18日	22日	20日	17日	15日	中止	23日	16日	市民や利用団体のPCスキルの向上
	書道教室	木										5日			写経を通じ集中力や手先の感覚を鍛える
	健康普及	水										11日			健康普及委員による、老化防止体操（コグニサイズ）の教室
	さき織り体験	木			23日				27日						不要になった布を最後まで使い切るエコな教室
	ポルトガル刺繍	木				7日									ポルトガル地方発祥の毛糸を使った刺繍、手先の運動と、参加者の交流の場
フラダンス教室	木(毎週)									10日 17日 24日	1日			音楽にあわせて体を動かし、地域の人とフラを通じての交流の場	

支援事業

対象	事業名	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施内容
中学生	サタデー・チャレンジルーム	土	毎週土曜日												渋谷中学校の先生が行っている生徒への学習支援

5. 移動制約者の外出介助サービス事業

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業	
事業者	特定非営利活動法人 ワークス・コレクティブ ケアびーくる	
市担当課	障がい福祉課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	19年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 12,000,000円 市担当課の執行額（注2）： 177,776円	
事業の目的	ひとりでは公共の交通機関を使えない障がい児者や高齢者などの移動制約者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることを目的とする。	
事業の内容	福祉有償運送の位置づけ。主に車を使い、会員制、予約制で様々な要望に応じて介助付きの移動サービスを実施。通院や入退院、通所、ショートステイ、買物、墓参など。必要に応じて、ベッドtoベッド、車椅子に乗ったままの階段の乗降（複数人に対応）などにも対応。 会所有：福祉車両4台（リフト式3台、スロープ式1台）、ストレッチャー、フルリクライニング車いす、車いす（5台）、段差用スロープなど 登録セダン：13台、活動メンバー：26人（内、運転会員20人）	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 （イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください）
	通年	利用会員（移動制約のある高齢者や障がいのある方々）に、主に車を使って介助付き移動サービスを実施しました。 昨年度からの継続利用会員：170名 今年度の新規利用会員：122名 計：292名 利用回数：6,337回 利用者延べ人数：4,126人 （通院等 4,132回、通所等 724回、その他 1,481回） 年中無休で電話番号を配置。毎日メールで予定表を確認。メールなども活用しながらメンバー間での意思疎通を図り、毎月、定例会・理事会を開催し、課題解決などを行いました。 福祉車両の定期点検・車検・修理。冬タイヤ装着。 必要に応じて講習の受講、内部研修を実施しました。 （安全運転管理者講習、運転技能研修など）
	4月16日	黄色いレシートキャンペーンカード受取り
	4月27日	大和市地域公共交通協議会 出席
	4月29日	福祉車両3台 冬タイヤから履き替え

5月7日	新キャラ1ヵ月点検
5月22日	第25回通常総会
5月12日	福祉有償運送登録更新申請書提出（運営協議会）
5月23日	輸送実績報告書提出（街づくり総務課）
6月9日	福祉有償運送登録更新申請提出（街づくり総務課）
6月18～19日	N-BOX リコール対応
6月23日	運転者募集リーフレット印刷発注
6月27日	太陽生命厚生財団助成金申請（郵送）（※1）
7月1日	車両保険更新手続き 証券着
7月8日	市民活動センターに団体紹介動画等持参”
7月10日	アルコール検知器運転者に配布
8月15日	『やまと社協だより』打合せ
8月、9月	福祉車両4台、それぞれの6ヵ月点検
9月19日	（※1）によるオールシーズンタイヤをてのひら号に
〃	（※1）による車いす用スマートレストの検品
9月27日	FMやまと 出演
10月1日	『やまと社協だより』（1・2面に掲載）
11月9日	社会福祉大会（県知事表彰）
10月3～13日	てのひら号リフト修理（リモコン取替え）
10月5日	共同募金協力（街頭募金は自粛）
11月24日	車いす用スマートレストの部品交換
12月7日	共同募金協力（街頭募金は自粛）
12月8日	大和市地域公共交通協議会出席
12月14日 20日	福祉車両2台冬タイヤに履き替え
12月21日	インボイス制度相談会（大和税務署）
12月26日	福祉有償運送事業者燃料価格高騰等給付金申請（県）
12月26日	大和市原油価格・物価高騰対策中小企業支援対策給付金申請
12月27日	福祉車両3台の駐車禁止除外指定更新手続き
1月4日	ライフフリー助成申請（郵送）
1月、2月、3月	福祉車両4台、それぞれの1年点検
1月27日～2/1	ハイエース ラジエーター冷却水漏れ修理
2月6日	福祉有償運送事業者燃料価格高騰等給付金支給
2月7日	福祉有償運送に係わる会合
2月8日	地域公共交通協議会 幹事会
2月27日	商工会議所、相談
3月29日	インボイス適格請求書発行事業者登録申請

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 — 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>移動制約者の社会参加促進を目的とするという共通認識をもったうえで、事業を遂行することができました。20年来の継続の利用がある一方、新規利用の入会も多く、この活動が必要とされていることを実感します。今年度も多くの利用者や家族から感謝の言葉を頂きながら、また、それ以上にこちらが元気をいただきながら、活動を続けられました。</p>	<p>(コメント) 昨年度同様、R2年度から続くコロナ禍にも関わらず、事業者の努力により新規会員を獲得するなど、企業努力によって事業規模の拡大が行われております。また、日常と異なる困難な状況下の中において、この事業を必要とする方々に対し、適切なサービスを提供し、事業を遂行することができました。</p>

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>独居の利用者も多く、社会の縮図を見るような場面もあります。関係部署との連絡を密に取り、きめ細やかな、利用者に寄り添ったサービスが提供できたと考えます。</p> <p>運転メンバーも運行管理者や事務局も歳を重ねています。新たな運転メンバーの参加が3人ありましたが、専任で常時携われる担い手の不足は恒常化しており、このままでは2年後には本会の活動が今のように継続できるか危ぶまれます。メンバーの拡充が喫緊の課題です。メンバー募集のリーフレットを新たに作成し機会を見て配布しました。プロジェクトを立ち上げ、この問題に特化して取り組むべく、助成制度にも応募しています。</p>	<p>(コメント) 少子高齢化が進むこの問題は、本市に関わらず社会的な問題であります。高齢者(独居者)など移動制約者の行動インフラの確保は非常にニーズの高い事業であり、ケアびーくるを始め、福祉車両サービス各事業者は非常に公共性の高い役割を担っております。</p> <p>また、その担い手の後継者確保は喫緊の課題であり今後の展開を見据えた上で、市と3事業者との間で必要に応じ、本事業の課題について意見交換を行っていく考えております。</p>

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>最低賃金への対応など当初予算より増えた支出もありましたが、概ね予算内での活動ができました。</p> <p>民間の助成制度に応募し、サービスの安全確保のためのオールシーズンタイヤと車いす用スマートレスト購入の助成を受けました。</p> <p>ガソリン代高騰に伴う県や市の助成に応募し、支給されました。</p>	<p>(コメント)</p> <p>市は事業者に対して、車両維持のための負担金を支出しています。令和2年度から続くコロナ禍の環境下における運営での効率面の低下による経費の増加、燃料費高騰等の問題もあり厳しい状況が続きますが、各種補助金を活用するなど、運営面でも事業者の努力によって対応していただいております。今後も事業者が主体的に努力し、事業計画にそったサービスの提供を継続していただけるよう市として側面支援を行っていきます。</p>

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>市から駐車場と備品の保管場所の提供を受けていることは、会の経営・運営・社会的信用上、不可欠です。『やまと社協だより』の1・2面で取り上げられて、問い合わせが複数件あつたりしました。</p> <p>2月に市内の福祉有償団体3団体と担当部署3課との意見交換ができ、現況をお知らせできたことはよかったですと思います。次へのステップを期待しています。</p>	<p>(コメント)</p> <p>広報やまとや障がい福祉課ホームページ、窓口で配布している「障がい福祉のてびき」にも案内を掲載し周知に努めています。事業者と行政それぞれが役割を果たし、本事業に関して問題が生じた際には密に連絡を取り合うことで安定して事業が展開されました。</p>

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<p>今年度、日常的に運転に携われる新たなメンバーは2人増えました。しかし、今年度末、会のルールに則り、主力メンバーの一人が75歳の誕生日で運転会員を卒業しました</p> <p>重ねて記述しますが、メンバーの拡充が喫緊の課題です。</p> <p>福祉有償運送を、協働事業で実施する意味と必要性を勘案し、担い手の拡充に向けてもう一步踏み込んだ対応(以前からお願いしている市主催の運転者講習会を考えていただくなど)、一層の協働の強化を切望します。</p>	<p>利用者とともに、事業者の構成メンバーも高齢化しており、世代交代や新規のメンバーの確保が急務であることは、本事業を提案いただいている3法人ともに共通の課題であります。市担当課として、法人の活動を、より多くの市民へ理解を頂き知っていただくためにも、より一層の周知に努めていきます。</p> <p>また、事業の担い手不足に関連する課題については、本課を含め関係部署と連携を図り、課題の解決に向けた一歩を踏み出して参りたいと思います。</p>

6. 移動制約者の外出介助サービス事業

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業	
事業者	特定非営利活動法人 大和市腎友会	
市担当課	障がい福祉課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	19年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 2,900,544円 市担当課の執行額（注2）： 177,776円	
事業の目的	身体障がい者・高齢者などの移動困難者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図れることを目的とする。	
事業の内容	福祉有償運送事業者として、所有の福祉車両と自家用車でサービスを提供。対象者は、介助なしでは移動が困難で、単独で公共交通機関の利用が困難な人。利用は、会員制の予約方式で、障害者手帳、介護保険手帳など移動困難者と認められるものがあれば入会でき、年会費、利用の都度の利用料金をお支払いいただき、あらゆる外出に利用可能。（大和市腎友会の山桜会が対応）	
令和4年度 事業実施の経過	施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	2022.3	経費節約の為、車椅子の送迎車1台の使用を止める。
	2022 通年	移動制約者の送迎 送迎料金改善の打合せを4回 お買い物、1か月に1回程度対応する 日帰り温泉・お墓参りは半年に1回対応
	2022.5～	見やすく、書きやすい、運転日報に改善し、事務の合理化を図りました。
	2022.5.25	安全運転管理者の講習会に出席しました。
2022.10.11月	テスト的に女性ドライバー(職員)に送迎の仕事に対応してもらう。現在も継続中です。	

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)、</p> <p>個別送迎で、透析患者さんの送迎を初めて対応し、大変喜んでいただいております。</p> <p>山桜会は、身体障がい者や要介護者の利用者さんが、安心して通院できるように、利用者さんに寄り添った、送迎サービスを進めてまいりました。</p> <p>特に、ドライバーは、利用者さんの、乗降時に木目細かい介助をしておりますので、安心して同乗していただきました。今後も続けて参ります。</p>	<p>(コメント)</p> <p>令和2年度から続くコロナ禍において、大変厳しい経営環境の中、この事業のサービスを必要とする移動制約者(高齢者・障がい者等)の方々に対し必要な対策を取ったうえで、事業を遂行することができました。</p> <p>また、利用者の身体的事情に細かな配慮を施すなど、この事業を単に遂行するだけでなく、利用者の心によりそった活動をするなど長年の活動から培ったノウハウがきちんと発揮されておりました。</p>

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>利用者さんとドライバーが、新型コロナウイルスに感染しないように、健康を最優先に1年間進めて参りました。</p> <p>具体的には、乗車時の体温確認、マスクの着用、車内の消毒、会話を控えめにさせていただき、車内の換気へのご協力をお願いして参りました。</p> <p>お陰さまで、新型コロナウイルスの感染者は、1人も出ませんでしたので、予定の方法で実施したので達成と考えます。</p>	<p>(コメント)</p> <p>令和2年度から続くコロナ禍において、例年と異なり利用者が様々な不安を抱える中で、事業者は個々の利用者のニーズに配慮しています。特に、本事業者を利用する方は基礎疾患のある方が多く、コロナ禍においてより一層の対策をされ、細かい配慮に努めておりました。</p>

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) ガソリンの高騰、ドライバーを確保する為に、人件費アップなどがあり、収支を悪くしております。このような状態ですので、送迎料金の改定が必要と考え、健康福祉総務課に相談中でございます。 早速、3月13日に福祉有償運送運営協議会を開催する事になりました。	(コメント) 市は事業者に対して、車両維持のための負担金を支出していますが、物価高における燃料費の高騰下においては、必要経費の増加があり、状況が非常に厳しくなっております。運営面において事業者を中心に運営努力で対応し、市においても各課連携して側面支援を行いました。次年度も引き続き、事業者主体による運営努力を継続していただけるよう本市の各課が連携し、今後も引き続き側面から支援を継続していきます。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか（※コメント欄に記入ください）

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・4・③・2・1
(コメント) 事業を実施する上で情報提供不足が生じたためか、事業を推進する上で困難な場面がありました。今後は、市と情報共有をしながら事業推進して参ります。	(コメント) 広報やまや障がい福祉課ホームページ、窓口で配布している「障がい福祉のてびき」にも案内を掲載し周知に努めています。事業者と行政それぞれが役割を果たし、今後は、疑義が生じた際には、速やかに連絡を取り合うことで安定した事業を展開していきます。

今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
大和市腎友会の駐車場から、遠い地域の利用者さんの場合は収益が悪くなるので、お断りする場面もありました。 これを解決する為に、対価の変更を提案しております。 今後、利用者さんが多くなった時は、車輛関係とドライバーを増やして対応するように検討したいと思っております。	利用者とともに、事業者の構成メンバーも高齢化しており、世代交代や新規のメンバーの確保が急務であることは、本事業を提案いただいている3法人ともに共通の課題であります。市担当課として、法人の活動を、より多くの市民へ理解を頂き知っていただくためにも、より一層の周知に努めていきます。 また、コロナ禍については、出口が見えてきましたが、しばらく厳しい状況が続くとみられるため、事業者と市で課題を共有し、今後も事業者と連携を図ってまいります。

7. 移動制約者の外出介助サービス事業

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業	
事業者	特定非営利活動法人 たんぽぽ	
市担当課	障がい福祉課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	16年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 1,700,000円 市担当課の執行額（注2）： 44,444円	
事業の目的	○外出困難者への介助支援 ・障がい者・高齢者の移動制約者が外出の際の困難や不安感を軽減し安心して社会参加の促進がはかれることを目的とする。	
事業の内容	○特定営利活動有償移動サービス ・介助付きの外出サービス事業を安定して提供すること。	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎実績550件程度 ・スタッフ10名 ・定例会（毎月月末開催） ・総会（年1回） <p>障がい者・高齢者など、一人では外出できない移動困難者の方々に、外出する機会を得て頂きたいと考え、これまで事業を実施してまいりました。</p> <p>我々の事業は、通常の公共交通機関の利用が難しい方たちの貴重な移動手段として意義ある活動と認識しております。</p> <p>※現在運転会員7名で実施しています。</p> <p>稼働率（車両）は、昨年度の約80%位と見込んでいます。</p> <p>本年の稼働率の低下の主な原因としてR2年度から続くコロナ過における外出自粛が考えられます。また、病院、介護施設と行動範囲が限られており、利用者が主体的に外出を自粛していると強く感じます。</p>

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) R2 年度から続くコロナ禍による外出自粛の影響により利用者の減少と新規増員が見込めませんが、移動困難な方々への社会参加への促進ができたと考えております。	(コメント) 前年同様、コロナ禍における例年と異なる状況下の中であっても、この事業を必要とする方々に対し必要な対策を取ったうえで、事業を遂行することができました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 利用者の減少により収益見込めず例年より減収減益となる見込みだが、利用者にとって安全で安心した外出サービスを提供できました。	(コメント) 前年度と同様、令和2年度から続くコロナ禍において、例年と異なり利用者が様々な不安を抱える中で、事業者は個々の利用者のニーズに配慮しています。この事業を必要とする方々に対して、コロナ禍におけるより一層の対策を講じ、本年度も細かい配慮に努めておりました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 収益減少と共に設備費増加(車の維持管理に運営困難を要す等)がありましたが、事業努力で難局を乗り越えました。	(コメント) 市は事業者に対して、車両維持のための負担金を支出していますが、コロナ禍においては効率面の低下による経費の増加もありました。次年度以降は、コロナ禍の終息が見込まれ、状況が好転する兆しがあることから、今後も運営面での事業者の努力を期待しております。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>1. 福祉車両券、タクシー券による利用者、及び事業者にとって、資金への援助と成っています。</p> <p>2. 一部の車両重量税、駐車場の提供おおいに助かっております。</p> <p>今後も事業者と行政が共通の目的意識をもつことで円滑に事業を遂行できるよう努力しました。</p>	<p>(コメント)</p> <p>広報やまことや障がい福祉課ホームページ、窓口で配布している「障がい福祉のてびき」にも案内を掲載し周知に努めています。事業者と行政それぞれが役割を果たしました。</p> <p>また、疑義が生じた際にも密には、事業者と市が連絡を取り合うことで、課題の共有を図り、安定した事業が展開されました。</p>

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<p>高齢化に伴い、若返りを図る必要があり、魅力ある組織作りが望む所です。</p> <p>改善のポイントとしては、福祉車両の増車と運転要員の確保、高齢者の利用が多く見込まれることからの介助要員の確保と報酬の見直し、それを実現する運賃改定が検討課題として挙げられます。（運賃改定については、福祉運送郵送協議会に提案済みで、R5.4月から改定する予定。）</p>	<p>利用者とともに、事業者の構成メンバーも高齢化しており、世代交代や新規のメンバーの確保が急務であることは、本事業を提案いただいている3法人ともに共通の課題であります。市担当課として、法人の活動を、より多くの市民へ理解を頂き知っていただくためにも、より一層の周知に努めていきます。</p> <p>また、コロナ禍の状況がしばらく続くと思われる中、課題を共有し、今後も事業者と連携を図ってまいります。</p>

8. みんなでつくろう安心のまち事業

事業名称	みんなで作ろう安心のまち事業	
事業者	大和女性防犯会	
市担当課	生活あんしん課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	13年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）：	2,421 円
	市担当課の執行額（注2）：	532,000 円
事業の目的	大和警察署・大和市防犯協会・防犯指導員等と協力して、積極的に地域の防犯活動に参画して、犯罪のない明るく住みよいまちづくりを推進すること。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> （1）防犯キャンペーン及びパトロールの実施 （2）防犯に関する座談会及び講演会の開催 （3）防犯広報資料の作成及び配布 （4）子どもの見守り活動、防犯教室の開催 （5）高齢者の被害防止活動と指導 （6）その他の防犯活動への参加と情報の交換 	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	4月～3月	<p>4/15（金）県警本部合同年金支給日 一日警察署長・特殊詐欺撲滅キャンペーン（大和駅前）イベント参加者 500人、スタッフ人数 13人</p> <p>5/10（火）防犯の日 大和市合同防犯キャンペーン（大和駅前）イベント参加者 500人、スタッフ人数 13人</p> <p>5/17（火）大和中央7丁目地区『茶々会』防犯講話（中央7丁目自治会館）イベント参加者 30人、スタッフ人数 1人</p> <p>6/15（水）年金支給日 振り込め詐欺撲滅キャンペーン（大和駅前）イベント参加者 500人、スタッフ人数 13人</p> <p>7/8（金）防犯の日 大和市合同防犯キャンペーン（大和駅前）イベント参加者 500人、スタッフ人数 18人</p> <p>7/27（水）中央地区子ども安全安心お楽しみ教室（下草柳コミセン）イベント参加者 15人、スタッフ人数 1人</p> <p>9/25（日）中央地区敬老のつどい防犯講話（下草柳コミセン）イベント参加者 21人、スタッフ人数 1人</p>

		<p>10/14 (金) 年金支給日 振り込め詐欺撲滅キャンペーン (大和駅前) イベント参加者 600 人、スタッフ人数 14 人</p> <p>10/17 (木) 安全・安心まちづくり旬間防犯パトロール出発式 (つきみ野駅前) イベント参加者 60 人、スタッフ人数 5 人</p> <p>10/20 (木) 安全・安心まちづくり旬間 一日警察署長・警察官委嘱式 (大和警察署他) イベント参加者 500 人、スタッフ人数 13 人</p> <p>10/23 (日) 南林間文化祭防犯キャンペーン (南林間駅前) イベント参加者 200 人、スタッフ人数 5 人</p> <p>11/8 (火) 中央地区 (防犯重点地区) 防犯防災研修会 (下草柳コミセン) イベント参加者 3 人、スタッフ人数 30 人</p> <p>11/10 (木) 防犯の日 大和市合同防犯キャンペーン (大和駅前) イベント参加者 500 人、スタッフ人数 20 人</p> <p>11/28 (月) 大和駅前イルミネーション点灯式・一日警察署長防犯キャンペーン イベント参加者 500 人、スタッフ人数 15 人</p> <p>12/19 (月) 警察本部・県女性防合同特殊詐欺撲滅グリーンリボンキャンペーン (新百合ヶ丘駅前ペDESTリアンデッキ) イベント参加者 300 人、スタッフ人数 50 人 (県女性防含む)</p> <p>12/15 (木) 年金支給日 振り込め詐欺撲滅キャンペーン (大和駅前) イベント参加者 500 人、スタッフ人数 15 人</p> <p>12/21 (火) 大和中央 7 丁目地区『茶々会』防犯講話 (中央 7 丁目自治会館) イベント参加者 30 人、スタッフ人数 1 人</p> <p>1/10 (木) 防犯の日 大和市合同防犯キャンペーン (大和駅前) イベント参加者 200 人、スタッフ人数 15 人</p> <p>2/14 (金) 年金支給日 振り込め詐欺撲滅キャンペーン (大和駅前) イベント参加者 500 人、スタッフ人数 15 人</p> <p>3/8 (金) 防犯の日 大和市合同防犯キャンペーン (中央林間駅前) イベント参加者 500 人、スタッフ人数 16 人</p> <p>3/14 (火) 中央地区防犯重点地区閉会式 (下草柳コミセン) イベント参加者 20 人、スタッフ人数 3 人</p>
--	--	--

(注 1) : 事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注 2) : 市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取り、感染状況等を鑑みながら屋外で行う防犯キャンペーンを中心に、県警本部や他の防犯団体との合同キャンペーンを実施しました。</p> <p>広報活動として著名人に協力を仰ぎ、オリジナルポスターを作成。今回は子ども安全対策用『おおだこポリスのお約束』ポスター、自転車盗防止『カギカケテ』ポスター等、犯罪状況に合わせ複数の内容のものを作成配布し、前回同様、自治会・市の施設、また学校・幼稚園・保育園等子ども関連施設等、様々な場所に掲示を依頼し、また、作成した防犯ポスター画像を大和警察署1階ホールにてデジタルサイネージ(R2度協働事業で購入)を活用し、掲示しました。</p> <p>防犯キャンペーンでは、大和警察署や防犯関係団体と協力し、オリジナルポスターに協力してくれた著名人を一日警察署長として大和駅前において実施するとともに新しい試みとして、重点地区である中央地区において、子ども安全教室を実施。防犯お笑い芸人を招き、大和市・大和警察署防犯少年係と協力してわかりやすく記憶に残る防犯教室を開催することができました。</p> <p>バスでの研修会は、コロナ禍であることから実施を見送りましたが、大和警察署員による防犯講話と意見交換会を実施することで、警察署との連携強化を図りました。</p> <p>市民まつりやふれあい広場等、市の行事は引き続き中止になり、感染拡大で一時的に活動休止した時期もあったが、感染対策をしながら積極的に防犯活動をした1年であり、「犯罪の無い明るく住みよいまちづくり」に貢献できた、目的は達成できたと認識しています。</p> <p>なお、ここ数年の会員減少問題も、会則を改正し会員自ら積極的に会員勧誘を行い、初めて事務局推薦枠で3名が入会し、継続者を含め、17名(2名増)となったことから、今後も様々な団体と協力し、防犯活動を実施していきます。</p>	<p>(コメント)</p> <p>新型コロナ感染症の影響により、実施することができなかったキャンペーンもあったが、大和警察署や防犯関係団体と共同で制作した『おおだこポリスのお約束』や自転車盗防止『カギカケテ』ポスターなどは、著名人を活用したことにより、市民の目にも留まりやすく、効果的な広報活動であった。</p> <p>コロナ禍の中で、キャンペーン等の広報活動が制限される中でも、これまでの地道な活動や様々な工夫による啓発活動の効果により、市内の刑法犯認知件数は、平成15年の6,427件をピークに減少していたが、令和4年では、7年ぶりに増加(前年比プラス166件)となった。</p> <p>しかしながら、これら地道な活動を継続して行うことで、市民一人ひとりが防犯に対する関心が高まり、市域全体で防犯意識を高揚させることは、安全で安心なまちづくりを推進する本市にとっても有効な取組みの一つである。</p> <p>特に防犯パトロールの実施は、市民の体感治安の向上にも大きく寄与していると認識しており、協働事業の目的は、おおむね達成されていると考える。</p>

・ 予定した方法により事業が実施できましたか（実施手法）

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>防犯の日や年金支給日等の例年行っていた防犯キャンペーンや歓楽街パトロールが復活し、ほぼ予定どおり実施できた。</p> <p>また、県警本部合同キャンペーンや電設協会の大和駅前イルミネーション点灯式防犯キャンペーン、著名人による一日警察署長防犯キャンペーン、子ども安全教室等、他団体とコラボした大きめのイベントを実施することで、通行人や参加者の注目を集めることができ、多くの方に防犯に興味を持ってもらえた防犯キャンペーンを実施することができた。</p>	<p>(コメント)</p> <p>コロナ禍により、大和市民まつり等、一部の啓発活動を実施することができなかったが、その他の予定していた事業は、概ね実施することができた。</p>

・ 当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) 5・4・3・2・1	(採点) 5・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>コロナ禍により、バスによる研修会、市民まつり・ふれあい広場等が中止となったため、啓発品購入が減った分、一日警察署長等の出演料、オリジナル防犯ポスター各種等に活用した。</p> <p>また今年度は防犯活動が再開されたので、会員各位に防犯活動時交通費を支給した。</p> <p>若干の不足分は、当会親団体である大和・綾瀬地区防犯協会連合会に負担してもらった。</p>	<p>(コメント)</p> <p>コロナ禍により、当初予定していた啓発活動が実施できなかったため、物品購入費を減額したが、大和警察署や他の防犯関係団体と共同で防犯啓発ポスターを複数作製するなど、協働事業の目的に沿った事業費の執行に努めることで、概ね当初予算の中で事業を実施することができた。</p> <p>今後も、事業者と密に打ち合わせなどを行い、継続して効果的な事業を進めていきたい。</p>

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>コロナ禍で市民まつり等が中止となったが、その自分たちでできる防犯活動を考える機会と捉え、オリジナルのイベントやポスター等、協働事業負担金を有効に活用し、新しい活動が実施できた。</p> <p>コロナ前後では、犯罪の傾向が変化しつつあり、そういった情報も逐一大和警察署等から聞くことができ、啓発活動に生かすことができた。</p> <p>子ども安全教室や防犯重点地区研修会等、大和市生活あんしん課と協力して行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業負担金を活用した幅広い防犯活動 ・大和市と協力して行う地域の防犯講話 ・大和警察署からの最新の犯罪情報に基づいた防犯キャンペーン <p>この3点が揃うことによって、より効果的な防犯活動を実施できるのは、協働事業だからこそと思います。</p>	<p>(コメント)</p> <p>健康都市やまと総合計画において掲げる「安全で安心して暮らせるまち」の実現に向け、犯罪の不安がないまちをつくるためには、市民一人ひとりが防犯に対する意識を高揚させ、地域全体で取り組みを推進していくことが必要であり、市民からなる女性防犯会と協働でキャンペーンなどの啓発活動を実施していくことは、本市が目的とする将来都市像の構築に欠かせない重要な取組であると認識している。</p>

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<p>(コメント)</p> <p>コロナの自粛が明け、街に人流が戻ったことにより、犯罪認知件数もじわじわと増えてきています。</p> <p>これからも時代や状況に合わせた防犯活動を積極的に行っていきたいと考えています。</p> <p>今後も継続して女性防犯会の活動を進めるためには、会員の増加も課題の1つであることから、地域の方に働きかけるなど、積極的に会員増加に努めていきます。</p> <p>また、アフターコロナを見据え、活動の方向性や有効な防犯活動方法などについて会員内で話し合い、関係団体との連携を強化し「犯罪の無い明るく住みよいまちづくり」に貢献していきたいと考えています。</p>	<p>(コメント)</p> <p>本協働事業は、これまで述べたとおり、本市の防犯施策の推進にあたり、重要な取組の一つであるが、刑法犯罪認知件数の増減による指数治安と市民が感じる体感治安は必ずしも比例しないため、効果の計測が困難な側面もある。</p> <p>しかしながら、多くの市民が集まる場所での「見える・見せる防犯啓発」や「パトロール活動」を着実に推進していくことで、数字では表せない体感治安を向上させることは可能であり、結果として、本市の刑法犯認知件数の抑制に繋がることと認識しているため、継続した協働事業の実施は、必須であると考える。</p>

9. 大和市民活動センターの管理運営

事業名称	大和市民活動センターの管理運営	
事業者	拠点やまと	
市担当課	市民活動課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	18年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 2,961,954円 市担当課の執行額（注2）： 6,696,000円（※）	
事業の目的	活動団体の居場所としての市民活動ブース「部室」や市民交流スペースを活用して、活動の支援や様々な市民の交流を推し進める。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民活動に関する支援として情報の収集と提供を行う。 2. 市民活動センターに集う人や団体の交流を図る。 3. 中高生やシニア世代などのボランティア活動コーディネート。 4. 市民活動団体と行政の協働の為、市民目線のアドバイスを行う。 5. 市民活動ブース「部室」を含むセンターの管理運営を行う。 	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	通年	市民活動センター／部室／会議室の管理受付業務、ホームページ更新、金銭収支、「業務日誌」の発信、動画作成相談、受配信、電子掲示、市民活動相談、収支チェック・報告 「FM やまと」～やまとっこ☆みつけた～ 情報発信：広報紙「あの手この手」、ニュースレター、来館者報告、「拠点やまと会議」、「スタッフ会議」 ベテルギウスまつり「カッコーフェスタ」（活動交流まつり）、共育（ともいく）セミナー 中高生ボランティア活動「このゆびとまれっ！」
	毎週	
	隔週	
	毎月	
	イベント	
イベント中止	中高生ボランティア活動「このゆびとまれっ！」	
<指標数字>	<p style="text-align: right;">(昨年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動登録団体数 168団体 (156) ・会議室使用回数 1,111回 (849) ・会議室活用人数 6,612人 (4,384) ・部室活用回数 1,266回 (1,316) ・市民交流スペース使用人数 3,463人 (1,117) 	

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

- ◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。
 (5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 昨年同様 新型コロナウイルスの長期蔓延での行動規制で、中高生ボランティア活動「このゆびとまれっ！」など一部中止となったが、協働体制の下、全体的に活発な活動が行われた。 今までに無い“広報インタビュー”や“セミナー取材”などこちら側から積極的に登録団体や関係者を訪れて情報交換、交流、相談を行い、関係者に向かって広く発信できた。	(コメント) 市民活動に関する相談者に対し、事業者から「市民目線」でのアドバイスをしました。 コロナ感染防止対策を施しながら、「カッコーフェスタ」などを再開しました。 市民活動センター本来の活動を可能な限り積極的に実施しました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
パネラーがZOOM参加するなど、従来とは異なった内容も生じたが、在宅勤務やライン通信なども含めて、支障なく事業遂行ができた。 活動団体と一緒にハイブリッド会議、研修、セミナー、オンライン集会などリモート交流を活発に行った。業務を補い合い、新人も含めた少人数でやり繰りできた。	(コメント) ZOOMを活用した在宅勤務や共育セミナー開催など、電子媒体を活用する工夫をし、事業実施しました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
利用負担金(施設・機器使用料)は従来の3割減まで戻してきたが、その環境下で意識的に収支バランスを行った。 情報発信、外注の無い自主活動、システム化などスタッフのスキル活用で、企画から実行まで短時間で小回りの利いた行動を行い、また経費削減にも大幅な貢献ができた。	(コメント) エクセルにより収支を適正に管理しており、計画的に事業実施しました。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
<p>協働事業のカウンターパートとして、双方からの意見交換や協力活動を行っている。</p> <p>登録団体や市民との接点を広報誌、メール、インスタグラム、HP、動画アップ（YouTube）、ZOOMなど間接的な媒体に多く頼ったが、その作成や相談、打ち合わせ過程で協働の効果があつた。</p>	<p>(コメント)</p> <p>市民活動センターと市民活動課双方で協力し、市民の立場、行政の立場で必要な意見交換を行い、調整することができました。</p> <p>事業者は、市民活動を始めようとして相談にくる方に対し、「市民目線」でアドバイスしていました。</p>

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<p>メンバーのスキルの維持向上はこれからも継続を意図して行く。少人数で、しかも常勤体制がひけない“アルバイト”や“パートタイム”形式の時給制でやり繰りするのには常に気を使う現状となっている。</p> <p>各業務の中、自分が表に出て職務を遂行できるリーダーシップ、また協働体制での責任ポジションを消化できる人材を育てる急務がある。特に“相談・研修”業務は経歴・知識の他、実践体験などを経た人材を求める。</p> <p>モラルの維持向上とスキルの習得、そして“若返り”を念頭に入れ これまで培ったチームワークで向かって行きたい。</p>	<p>スタッフが少数ではあるものの、勤務体制を工夫し、業務を最大限実施していました。</p> <p>メンバーのスキルアップや人材育成の課題がありますが、今後も事業者と一体になって実施できる内容を検討実施していきます。</p>

10. 障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業

事業名称	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業	
事業者	NPO 法人 大和市腎友会	
市担当課	指導室、健康福祉総務課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	12年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 34,100円 市担当課の執行額（注2）： 円	
事業の目的	① 小中学生という若い日に、障がい者が日頃感じていることや生き方を知り、自分の健康や生き方、災害時の共助を考えてもらうため ② 地域の防災訓練では、参加者に障がい者への災害時の共助と共生を考えてもらうため	
事業の内容	① 透析者が、透析による身体的、経済的、精神的苦しさや、健康がいかに大事か、災害時自力での避難に不安をもっていることを、小中学生に知ってもらいたい、弱者への気遣いをお願いと共助を考えてもらう ② 透析者が、地域防災訓練に参加し、参加者に身近な障がい者の存在を知り、共助と共生の在り方を考えてもらう	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	2022.6.6 2022.7.4 2022.11.22 2022.12.15	(1) 中央林間小学校4年4クラスとのふれあい体験 ■講師の依頼及び確認 ■中央林間小学校と鶴間中学校に開催の実施について確認の電話をする ■中央林間小学校に実施内容の確認で訪問 ①実施要項の説明(講師名・ボランティア名等) ②事前学習用して、中外製薬の「透析を受けられる患者さん」の本を提供する ■中央林間小学校4年4クラス 合計で114名 9:40～10:25の時間帯で実施する 講師4名(透析者)とボランティア5名 (2) 鶴間中学校2年生のふれあい体験と下鶴間連合自治会の防災訓練は、コロナ感染防止のため中止

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 生徒達は、講師の話を聞き、感動し、これからこのようなことをしたい、又やってあげたいという感想文を、114名中、36人(32%)の方が書いてありました。この感想文を見て、目標は達成出来たと考えております。	(コメント) 課名:指導室 コロナ禍においても、感染対策を行いつつ取り組むことができるようになってきており、目的についても達成できたと考える。
① 透析患者さんに対して、やさしくしたい、助けてあげたい。声をかけるようにする。透析患者さんが治るようにもっと勉強したい。将来、医者になり、透析患者さんを助けてい。	(採点) 5・4・③・2・1 (コメント) 課名:健康福祉総務課 避難行動要支援者の地域防災訓練の主管課としては、今年度の訓練が中止となったため、関わりはなかった。
② ヘルプマークを付けた人がいたら、やさしく声をかけるようにしたい、助けてあげたい、協力したい、手伝おうと思う。	

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ① 透析している講師の方から直接お話を聞くことができたので勉強になったと思う また、シャントに触ることができ、感動していた。	(コメント) 課名:指導室 感染対策を取りつつ実施できたと考える。
② 透析、腎臓、食べ物について理解した。	(採点) 5・4・③・2・1
③ 家に帰ったら、おじいちゃん、おばあちゃんに腎臓について、教えてあげる。	(コメント) 課名:健康福祉総務課 避難行動要支援者の地域防災訓練の主管課としては、今年度の訓練が中止となったため、関わりはなかった。
④ 透析をしている講師からのお話なので、実施手法としては良かったと思います。	

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ① 講師の送迎に、少し費用がオーバーしましたが、今回は、ほかの2件が中止になりましたので何とか対応が出来ました。	(コメント) 課名:指導室 予算はありません
② 講師の方が、手作りのPOP類を使用して、説明したのが、好評でした。	(採点) 5・4・③・2・1 (コメント) 課名:健康福祉総務課 予算はありません。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ① 行政側から事前に学校へ、案内等をしていただいたので、問題なく終ることが出来ました。感謝しております。 ② 学校の先生方も、全面的に協力していただき、お互いに盛り上げてくださったことが、協働事業の効果につながったと思います。ありがとうございました。	(コメント) 課名：指導室 共生社会の観点から、児童・生徒にとって、直接お会いして透析のお話をしていただける貴重な機会は、今後も必要であると考えます。また、腎友会さんの対応は適切かつ丁寧で、行政や学校との関係性も良好であると捉えている。
	(採点) 5・4・③・2・1
	(コメント) 課名：健康福祉総務課 避難行動要支援者の地域防災訓練の主管課としては、今年度の訓練が中止となったため、関わりはなかった。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
① 課題としては、講師の皆さんは、透析を週3回やっている方々をお願いしております。 透析をした翌日に講師をお願いしておりますので、今回、家族の方が心配で同席された講師の方もおられました。	課名：指導室 特にありません。今後も事業者や学校と連絡を密にとって進めていきたいと思っております。
② 今後は、講師をやっていただく、協力者を事前に検討する必要があります。	課名：健康福祉総務課 コロナ禍により、防災訓練の計画が立てにくくなっている地域も多い。地域防災訓練の計画の動向を注視し、事業者と事業展開を図っていきたい。
③ これからも、共助と共生の2つの重点項目が引き続き継続できるように努力してまいります。	

11. 家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業

事業名称	家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業	
事業者	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア	
市担当課	こども部すくすく子育て課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	3 年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 429,820 円 市担当課の執行額（注2）： 129,820 円	
事業の目的	家庭訪問型支援活動を推進し、子育て中の親の負担軽減、親子の精神的安定を図る。	
事業の内容	6歳未満の子どもがいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が、週に1回2時間程度訪問し、傾聴や親と一緒に子育てや外出をする子育て支援ボランティア活動。 市等が実施する様々な子育て支援施策が上手に利用できない、支援が届いていない、支援の隙間で誰かの手助けを必要としている「気になる家庭（虐待やトラブル等が発生していないが、ストレスの高い孤立家庭）」に支援を行う活動。	
令和4年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	R4.4.1～ R5.3.31	訪問ビジター数・・・21名/27名 訪問オーガナイザー数・・・2名/2名 利用者申し込み件数・・・48件 実際に訪問した件数・・・45件 (うち双子がいる家庭・・・10件) 訪問回数・・・延べ149回

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) With コロナの生活が定着し、少しずつ外出を希望する家庭が増えた。特に多胎児を持つ家庭の利用が多くなった。一緒に活動したり、話を聴いたりすることで母たちの孤立感解消に効果があった。	(コメント) コロナ禍において、ボランティアが訪問することにより、子育て家庭の孤立感を緩和することに役立っている。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) コロナ対策に努めつつ、オンラインでの対応も可とした。対面による訪問を希望する家庭がほとんどで双方ともにホームスタートの長所を実感できた。交流会、ビジター、オーガナイザー研修も開催、参加できた。	(コメント) オンライン対応やマスク着用、アルコール消毒の徹底等、基本的な感染対策を行うことで、コロナ禍においても事業を適切に実施できた。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 当初予算内で実施できている。	(コメント) 市の当初予算内で実施できている。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・㊸・3・2・1	(採点) 5・㊸・3・2・1
(コメント) 赤ちゃん訪問や健診時、また市へ相談に行ったときにホームスタートを紹介された家庭が多かった。市のホームページから情報を得た家庭もあった。	(コメント) コロナ禍で子育てに関する各種イベント等の中止、地域の希薄化、核家族化が進む中で、ホームスタートを希望する家庭をボランティアが訪問することにより、子育て家庭の孤立を防ぐことができた。また、育児相談などの行政による支援に繋がった事例があった。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知と利用者増 ・ホームビジターの発掘、育成 ・新型コロナ等のウイルスに対する感染対策と衛生管理を引き続き適切に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知と利用者の増 ・引き続きコロナ禍における感染対策を徹底すること

12. 入院患者さんの「癒しの場」提供事業

事業名称	入院患者さんの「癒しの場」提供事業	
事業者	LickLuck	
市担当課	病院総務課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	9年（令和4年度を含む）	
令和4年度 決算予定	事業者の負担額（注1）：	0円
	市担当課の執行額（注2）：	0円
事業の目的	大和市立病院に入院されている入院患者様への入院生活の中で癒しの一時を提供することを目的とする。	
事業の内容	年に2～3回程度、大和市立病院内にて院内コンサートを実施する。	
令和4年度 事業実施の 経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
		新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和4年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1	(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1
(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。	(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1	(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1
(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。	(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1	(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1
(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。	(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。

★協働による相乗効果がありましたか(協働の効果)、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1	(採点) 5・4・ <input type="text" value="3"/> ・2・1
(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。	(コメント) 新型コロナウイルス感染症が流行したため、開催を中止しました。

・今後の課題や改善事項等(自由記述)

事業者	市担当課



協働事業に関するお問い合わせは

大和市役所 市民活動課

協働・ボランティア・県人会・市民活動支援係

☎046-260-5103

大和市民活動センター

☎046-260-2586